

2026 年度 欧州非干渉散乱 (EISCAT) レーダー観測及びデータ解析共同利用の募集案内

時下益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

今回 2026 年 11 月から 2027 年 3 月までの EISCAT レーダー観測共同利用を下記の要領で募集いたします。多くの皆様の共同利用・共同研究への御参加をお願い申し上げます。

1. 概要

日本は 1996 年に欧州非干渉散乱 (EISCAT) 科学協会に正式加盟し、複数の EISCAT レーダーを用いた特別実験を実施しています。現在は、トロムソにある UHF レーダー（注：スキャン観測不可）及び VHF レーダー、電離圏加熱装置、ロングイヤービェンにある EISCAT スーパーバルレーダー (ESR、注：42m 固定式アンテナ利用のみ) の共同利用を行っています。EISCAT 科学協会から EISCAT AB への組織改編に伴い、労働環境整備及び EISCAT_3D の運用開始準備などにより、2026 年度の共同利用については 11 月より実施可能となります。2026 年 12 月までの日本の EISCAT レーダー観測時間は約 16 時間、2027 年には 80 時間程度になる予定です。また、これまでに取得した EISCAT レーダーデータを用いた共同利用・共同研究についても広く募集いたします。さらに、EISCAT_3D レーダーの初期観測を 2026 年末から 2027 年に実施することを予定しており、その後の定常利用開始に合わせた特別実験募集を別途行うことを検討しております。

2. 目的

EISCAT レーダーシステムを用いることにより、サブオーロラ帯から極冠域にわたる極域の電子密度、電子・イオン温度、イオン組成、電気伝導度、イオン流、電場、電流、降下粒子、太陽風などの基礎物理量を、空間・時間分解能良く観測することができます。そのため、太陽風・磁気圏・電離圏・熱圏・大気圏結合システムの研究に大きな寄与をするものと期待されています。広い分野の多くの研究者の方々に EISCAT 国際協同計画へ参加して頂き、斬新なアイデアに基づくレーダー実験やデータ解析を実施して、多くの科学的成果を上げて頂くことを強く希望しております。

取得されたデータ利用については、以下のデータポリシー（注：EISCAT 科学協会発行。2025 年 1 月に組織改編した EISCAT AB（スウェーデン国有会社）においても同様）に準拠します。

- ・コモンプログラム（CP、共通実験）データに関しては、観測実施後直ちに EISCAT 加盟国・準加盟国及び加盟国以外に対して、初期解析データ及び生データが公開されます。
- ・スペシャルプログラム（SP、特別実験）データに関しては、実験実施の 1 年後に EISCAT 加盟国及び準加盟国に対して生データが公開されます。実験実施の 2 年後には加盟国以外に対しても生データが公開されます。

3. 審査

申請を頂いた共同研究課題は、国立極地研究所の EISCAT レーダー運営分科会及びその下に設置された EISCAT 特別実験審査部会で、採否や特別実験の時間の割り当て等が審議・承認されます。その内容を踏まえ、採否等の決定を 2026 年 11 月上旬までに行う予定です。

4. 申請方法

2026 年度の EISCAT 共同利用の申請について、

- ・ 申請締め切り：2026 年 10 月 19 日（月曜日）正午
（今回は募集期間が短いことにご注意ください。また、2026 年 11 月から 2027 年 1 月については、実験可能時間が限られることから、この期間に行うべき相当の理由がある特別実験 3 件程度を優先致します。）
- ・ 特別実験を実施しないデータ利用の申請については随時受け付けます。
- ・ 申請書の送付先（電子メールアドレス）： eiscat@nipr.ac.jp

受取確認の電子メールを数日以内にお送りいたします。

もし確認が無い場合は、お手数ですが再度送付及び御連絡をお願いいたします。

申請時の注意点として、

- ・ 申請書の書式は 2 ページとなりますが、必要に応じてページ数を増やしても構いません。
- ・ 同一代表者が申請可能な件数は 2 件までです。
- ・ 実質継続課題（新規申請ではあるが、昨年度に同様の研究内容で申請している課題）については、申請書の「3. 昨年度の状況」の欄にもご記入下さい。

5. 申請資格者

国、公、私立大学および国、公立研究機関の研究者、またはこれらに準ずる研究者（注：大学院博士後期課程の大学院生は、研究代表者になることができます）。ただし、大学院博士後期課程の大学院生は、申請前に指導教員と十分相談し、共同研究者に指導教員を必ず含め、利用責任者（注：EISCAT レーダーを利用した研究を進める際に、責任をもつ立場の方）として下さい。

6. ホームページ等

各々のレーダーの性能、過去に実施された CP 実験及び、SP 実験、EISCAT レーダーを用いて行われた研究、EISCAT レーダー周辺の地上観測機器の配置等については、EISCAT 本部ホームページ（<https://www.eiscat.se>）や、日本の EISCAT プロジェクト用ホームページ（<https://polaris.nipr.ac.jp/~eiscat/>）、名古屋大学宇宙地球環境研究所（ISEE）の EISCAT ホームページ（<https://www.isee.nagoya-u.ac.jp/~eiscat/data/EISCAT.html>）をご参照下さい。

7. 特別実験報告について

特別実験代表者には、年度末に開催する EISCAT 研究集会（極地研研究集会及び名大 ISEE 研究集会）にて、特別実験報告をお願いしております。

8. 問い合わせ先

eiscat@nipr.ac.jp（電子メールアドレス）

EISCAT レーダー実験やデータ解析等に関する問い合わせは、先端的レーダー研究推進センター・EISCAT_3D 運営グループまでお寄せ下さい。